

市議会だより

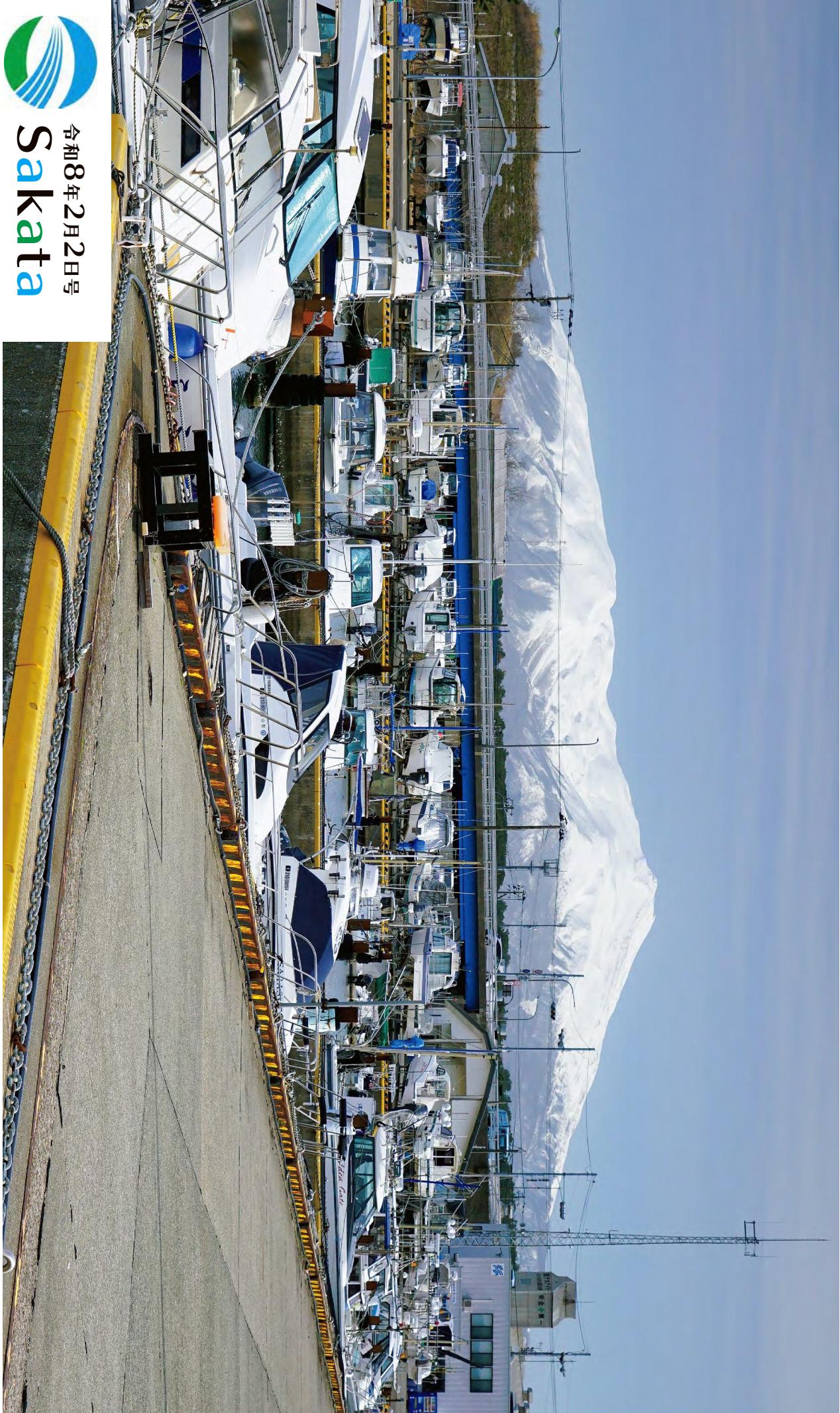
第87号

令和8年2月2日号
Sakata

12月定例議会

海岸林枯松二次被害防止緊急伐倒業務委託、障がい児
通所等給付費、生活保護扶助費に関する補正予算を可決
令和7年酒田市議会の主な活動状況

『陽光の酒田港』高谷 勝巳氏撮影



12月定例議会

令和7年12月9日～12月22日
議会期間14日間

—議第89号令和7年度酒田市一般会計補正予算
野生鳥獣農作物被害対策事業

志友会



12月12日と12月22日に各常任委員会を開催し、議案20件を審議しました。

常任委員会

審議された議案等

- 市長提出案件……34件
- 議員提出案件……3件
- 請願・陳情……2件
- その他……1件

令和7年度酒田市一般会計補正予算（第7号）をはじめ、右記議案等を審議しました。

議案は、各常任委員会、予算特別委員会の審査を経て本会議で採決が行われた結果、可決、認定、同意されました。

今年度のクマの駆除数は

今年度は、過去に例を見ないクマの出没・目撃件数となり、9月16日には、八幡地域下青沢地内で當農作業中にクマに襲われるという事案が発生した。また県は、出没警報の発令を12月31日まで延長している。本市での目撃情報は、12月7日現在で430件となつているが、現時点でのクマの駆除数と猟友会などの出動回数を伺う。

12月7日現在で61頭を駆除

答 市長 今年度のクマ駆除数は、12月7日現在で61頭となつており、統計が残っている平成18年度以降で最多となる。猟友会などの出動回数は集計をしていないが、猟友会からの推薦会員をもとに本市に設置している鳥獣被害対策実施隊の活動報告書による10月期末での出動回数合計は、クマ、イノシシ、鳥類なども含めた累計で3千120回となつていて。これは、わなを設置する際に3人が出動した場合に3回とカウントするもので、対前年比では約2・33倍に増加している。

【民生】

議第97号酒田市交流ひろば設置管理条例の一部改正についてのほか、議第98号、議第104号の議案3件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。請願第1号については、全会一致で採択す

代表質疑

代表質疑とは…

会派・団体の代表が、市長提出の議案に関して、疑問を問い合わせ確かめるもの。

市長提出議案に対する質疑では、12月11日に会派の代表1人が行いました。質疑と答弁の要旨は次のとおりです。

べきものと決定しました。

請願2号については、賛否両論があり、起立採決の結果、賛成少数で不採択と決定しました。

委員会討論(民生)

請願第2号

安全・安心の医療・介護提供体制を守るために、すべてのケア労働者の待遇改善につなげるための支援と診療報酬の大幅な引き上げを求める意見書の提出についての請願

賛成討論

志友会 後藤 仁 議員

県・市病院労組合併当時の酒田市病院機構理事長は、労使協力して地域医療を行うと発言しており、本請願は労使一体のものと考える。すべてのケア労働者の待遇改善を求める願意は妥当と考え賛成する。

反対討論

新和会 松本国博 議員

賃上げと病院経営が大変であることを1つの請願に盛り込むのは、説得力にかける。国はすでに医療従事者の人材確保の対応に動いており、経営補填や賃上げを出す時期ではないと考え反対する。

【建設経済】

議第99号水道事業の統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてのほか、議第100号、議第105号から議第110号までの議案8件を審査しました。

審査の結果、いずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

12月15日に議第89号令和7年度酒田市一般会計補正予算(第7号)のほか、議第90号から議第92号の議案4件を審査しました。

今回の補正は、海岸林枯松二次被害防止緊急伐倒業務委託料の増額、障がい児通所等給付費の増額、生活保護扶助費の増額が主なものでした。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、12月22日に追加提案された議第116号(令和7年度酒田市一般会計補正予算(第8号))のほか、議第117号から議第118号の3件を審査しました。

今回の補正は、山形県人事委員会勧告に準じた給与等の増額及び人事異動等による給与等の調整、物価高対応子育て応援手当の支給に係る経費の計上が主なものでした。

審査の結果、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

議員連盟の役員改選

12月17日に各議員連盟などの臨時総会を開催し、役員の改選を行いました。

国際交流友好促進酒田市議員連盟

姉妹都市や友好都市をはじめとする世界の国や地域との友好と都市間交流を促進することを目的とするものです。

会長 進藤 晃
副会長 齋藤 直
事務局長 伊藤 欣哉

酒田市私学振興議員連盟

私立幼稚園を含む私立学校の振興を図り、本市の教育振興および教育環境の整備、発展に寄与することを目的とするものです。

代表世話人 進藤 晃
事務局長 富樫 覚

酒田市のスポーツ及び文化芸術を応援する会

本市在住、本市出身もしくは本市にゆかりのあるスポーツ選手または文化芸術活動を行う者を応援することにより本市スポーツ及び文化芸術の振興に寄与することを目的とするものです。

代表世話人 進藤 晃
事務局長 遠田 敏子

令和7年第2回定例会 第2回12月定例議会 議決結果一覧

議案番号	件 名	議決結果
報第21号	専決事項の報告について（令和7年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その1）請負契約の変更）	報 告
報第22号	専決事項の報告について（令和7年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その8）請負契約の変更）	報 告
議第89号	令和7年度酒田市一般会計補正予算（第7号）	可 決
議第90号	令和7年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議第91号	令和7年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議第92号	令和7年度酒田市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）	可 決
議第93号	酒田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可 決
議第94号	行政組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可 決
議第95号	酒田市一般職の職員等の旅費に関する条例等の一部改正について	可 決
議第96号	酒田市都市計画税条例の一部改正について	可 決
議第97号	酒田市交流ひろば設置管理条例の一部改正について	可 決
議第98号	酒田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可 決
議第99号	水道事業の統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可 決
議第100号	酒田市下水道条例等の一部改正について	可 決
議第101号	酒田市松山歴史公園の指定管理者の指定について	可 決
議第102号	請負契約の変更について（鳥海小学校屋内運動場改修工事（建築工事））	可 決
議第103号	請負契約の変更について（光ヶ丘野球場及び屋内練習場人工芝改修工事）	可 決
議第104号	酒田市身体障害者福祉センターの指定管理者の指定について	可 決
議第105号	眺海の森ふれあい研修施設の指定管理者の指定について	可 決
議第106号	悠久の杜温泉施設、悠久の杜直売・食材供給施設及び悠久の杜活性化施設の指定管理者の指定について	可 決
議第107号	酒田市日和山交流観光拠点施設の指定管理者の指定について	可 決
議第108号	請負契約の締結について（公共土木施設災害復旧事業令和7年度公共災害復旧工事（第1工区））	可 決
議第109号	請負契約の締結について（林道熊沢線2号箇所災害復旧工事）	可 決
議第110号	請負契約の締結について（（縁越明許費）令和7年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その10））	可 決
議第111号～115号	酒田市公文書・情報公開・個人情報保護審査会委員の選任について	同 意
議第116号	令和7年度酒田市一般会計補正予算（第8号）	可 決
議第117号	令和7年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第1号）	可 決
議第118号	令和7年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議第119号	酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
議第120号	酒田市公益研修センターの指定管理者の指定について	可 決
議会第6号	酒田市議会委員会条例の一部改正について	可 決
議会第7号	酒田市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	可 決

12月定例議会で審議された請願・意見書

受理番号	件名	請願者	結果
請願第1号	飛島の特定有人国境離島地域への追加指定を求める意見書の提出についての請願	飛島コミュニティ振興会 会長 本間 俊明	採択
請願第2号	安心・安全の医療・介護提供体制を守るため、すべてのケア労働者の待遇改善につなげるための支援と診療報酬の大幅な引き上げを求める意見書の提出についての請願	山形県医療労働組合連合会 執行委員長 鶴巻 学	不採択

議案番号	件名	宛先	結果
議会第5号	飛島の特定有人国境離島地域への追加指定を求める意見書の提出について	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（防災 海洋政策）	可決

せいがん
請願ちんじょう
陳情

市民のみなさんの意見や要望を市政などに反映させようとする方法の一つに議会への「請願書」、「陳情書」の提出があります。

請願書、陳情書は、どなたでも議会に提出することができます。

議会に提出された請願は、その内容に関係する委員会で審査され、最終的に本会議で採択(趣旨に賛成)された場合は、市政などに反映されるよう関係者(市長、教育長、その他関係機関)に送付されます。

また提出された陳情は、各議員に参考として配付されます。

「請願」は……

- みなさんの意見や要望を文書にまとめて議会に提出することです。
- 紹介議員1名以上の署名または、記名押印が必要です。
- 受理された請願書は、本会議と関係する委員会で審査されます。
- 採択、不採択とした請願は、請願者へ審査結果を通知します。
- 採択された請願は、関係者（市長、教育委員会、その他関係行政機関）に送付されます。

「陳情」は……

- 請願と同じように、みなさんの意見や要望を文書にまとめて議会に提出することです。
- 酒田市議会では、紹介議員のないものを陳情とよんでいます。
- 受理された陳情書は、各議員に参考として配付されます。

※提出の締切、書式など詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

なお、市議会ホームページには書式例を掲載していますのでご覧ください。

議会活動日誌 *Diary*

12月

1日	各常任委員協議会 総務・民生常任委員勉強会 議会報編集委員会	17日	本会議 総務・民生常任委員協議会 議会報編集委員会 議会改革推進特別委員会
3日	議会運営委員会	18日	本会議 議会運営委員会
9日	12月定例議会（～22日） 本会議 議会運営委員会	19日	本会議
11日	本会議	22日	本会議 総務常任委員会 予算特別委員会 議会運営委員会
12日	各常任委員会 民生・建設経済常任委員勉強会 議会報編集委員会	25日	総務・民生常任委員協議会 民生常任委員勉強会
15日	予算特別委員会 議会運営委員会		

一般質問

一般質問とは…
市政全般に関する
状況や方針を質問し、
報告や説明を求めたり、
疑問を明らかにするもの。



12月18日、19日、22日に
計18人が質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

農地の災害復旧は

佐藤 喜紀 議員



現状と課題、地域ごとの進捗状況は

守屋 紀彦 議員



産業誘致のための新たな工業団地造成は

他の質問

義務教育学校の学校名、
校章の決定時期、
合後の施設の利活用



▲動画はこちらから

他の質問

市における製造業支援



▲動画はこちらから

答 農林水産部長 令和7年度に入り、災害関連を含む公共工事の発注が重なったことなどにより、入札不調が続いたが、現在は工事着手までの一定期間、技術者の配置を不要とする余裕期間制度を活用し、入札不調を解消した。今後は残土置場の確保が最重要課題と認識している。全体の進捗状況として、発注率は79%となつており、八幡地域は令和9年3月まで、それ以外は令和8年12月までの完成を見込んでいる。

問 令和6年7月25日の大雨災害から1年4か月ほど経過している。復旧が完了している農地は5千413ヘクタールに上り、復旧率は97%であり作付けを再開している。被害が大きい126ヘクタールについては、公共災害復旧事業による着工箇所も見受けられるが、現状と課題、地域ごとの進捗状況を伺う。

工事の発注方法を見直し、入札不調を解消

問 大型規模の進出相談が急に持ち込まれた場合、本市としてどこまで迅速に対応できるのかが、今後の誘致競争においてきわめて重要であると考える。県内外企業や成長産業からの立地相談状況は現状どのようになっているのか。また、地方に戦略的に産業クラスター形成をしていくという国の明確な方針を踏まえ、工業団地造成について事前の候補地調査を進める意思があるのか伺う。

多角的な整備手法を検討

答 副市長 成長産業については、洋上風力発電に係るサプライチェーン（供給連鎖）の一角を担う製造業やサーキュラーエコノミー（循環型経済）関連の製造業などの相談や視察などの対応をしている。本市は港を抱えていることや洋上風力などの再生可能エネルギーの開発余地があるといった特徴を踏まえ、民間企業と連携した造成なども視野に入れながら、多角的に整備手法を検討していきたい。

他の質問

パートナーとともに暮らし
続けられるまちづくりを



他の質問

今回の酒田市議会議員選
挙の低い投票率への考察と
今後の対応は



他の質問

小牧川の内水氾濫に備えて
国県への働きかけ、道路の浸
水を表示するポール設置

通学路をより安全にしていく
取組を

市原 栄子 議員



地下道の安全についての考えは

問 市内的一部地下道について、暗い、老朽化が進んでいて壁がはがれている、身の危険を感じるので何とかしてほしいという声が寄せられている。地下道を通学路としている児童生徒の保護者からは、子どもが「怖くて通れない」と言っていると聞く。構造上問題がないとしても、子どもの目線から怖さを感じるのであれば、どのように対応していくのか所見を伺う。

子ども目線の不安を解消できるよう対応

答 建設部長

通学路にある10か所の地下道を点検した結果、明るさは十分で大きなひび割れなどはなかったものの、子どもの目線では恐怖心に繋がっていると認識した。ひび割れには化粧を施したり、構造上問題がない箇所には見えないような工夫を早急にしたい。照明の明るさとしては100ルクス以上を計測したもの、照明間の一部では暗い箇所があった。危険度に合わせて順次対応していきたい。

酒田市総合計画
めざすまちの姿の目標値

佐藤 千佳夫 議員



なぜ目標値は100%ではないのか

問 酒田市総合計画後期計画の基本構想、めざすまちの姿の実現に向けた目標設定で掲げている3項目の一つに、酒田に住み続けたいという市民の割合がある。令和3年の実績値79・9%に対し令和8年までの目標値をわずか2%増の82%に設定しているが、誰もがいきいきと暮らしを目指しているにも関わらず、なぜ目標値を100%にしなかったのか所見を伺う。

現実的かつ具体的な成果として設定

答 企画部長

目標値は、平成28年度の実績値78・2%を基準としている。これに対して令和3年度の実績値が79・9%と、5年間で1・7ポイント上昇している実績を踏まえ、一定程度の約2ポイントの上昇が見込まれると想定して目標値を82%以上とした。計画期間内に達成すべき現実的かつ具体的な成果として設定しており、現時点で82%としている。

市立図書館管理運営費
年間約2億4千万円

松本 国博 議員



次期指定管理内容の見直しと経費圧縮を

問 市立図書館事業は、指定管理料として令和7年度予算では約2億4千万円計上されている。駅前に中央図書館を設置して4年間で約9億7千万円が図書館事業に使われている。これまでの図書館運営に加えて、イベントや図書館利用の促進、案内所による観光への寄与を高く評価するが、本市の財政規模や状況を加味した場合の図書館事業への支出バランスを考え、令和9年3月からの次期指定管理に向けた総括や要件提示、業務内容を見直す時期と考えるが所見を伺う。

今後の総括の中で検討していく

答 教育次長

次期指定管理を見据えた総括としては、令和7年度事業の評価をする令和8年度中に実施したいと考えている。次期指定管理者の選定に向け、今後総括していく中で、業務内容の変更を含め、募集要項や仕様の作成に取り組んでいく。

公園を心のバリアフリーに

子どもの安心安全な遊び環境のために

佐藤 弘 議員



あらゆる人が利用できる公園を増やす

問 近所の緑公園も、前に住んでいた近くの北部公園も、車椅子には対応していないようだ。障がいの有無に関わらず、あらゆる人が利用できるのが公園の本来の姿ではないか。

車椅子で散歩できる公園が近くにあれば、障がいのある人でも外に出る機会が増え、気軽に利用できる。あらゆる人が利用できる公園を増やし、心のバリアフリーにすべきと考える。所見を伺う。

広い公園での整備を検討

答 市長

公園は障がいの有無にかかわらず、あらゆる人がひとしく利用できるのが本来の姿であり、車椅子に乗ったまま利用できる公園を増やしていくべきとは認識しているが、全ての公園を整備していくことは困難であるため、比較的広い公園を選択して実施を検討していくことも必要と考えている。設計計画の段階で、あらゆる人がひとしく利用できる公園整備を念頭に公園の計画整備を実施していくように心がけたい。

他の質問

デフリンピックを機に聴覚障がい者理解をさらに進める



▲動画はこちらから

他の質問

本市の中長期観光戦略とインバウンド向けプロモーション



▲動画はこちらから

地域住民のよりどころとなる施設

武田 恵子 議員



コミュニティセンターの改修などの計画は

問 コミュニティセンターを配置し始めてから約40年。様々な形で利用の方法が市民に定着している。初期の頃に建造された施設の利用者からは、施設が古くなつたので不便を感じるとの声を頂戴した。バリアフリー化、省エネルギー、多様性社会などに対応する施設に改築するなどの計画はあるのか。

耐用年数まで活用し順次改築などを検討

答 市民部長

耐用年数までは既存の施設を有効に利用し、順次改築などを検討していく。

答 健康福祉部長 あるものを生かす・庄内全域で考えるという方針に変更はないことから、現状では、新たな屋内遊戯施設の設置ではなく、あのもしえパークの継続と既存屋内遊戯施設の遊具更新を検討課題としている。一方で今後、施策として既存施設の活用、機能移転などを検討する際には、近隣の自治体にはない特徴的で利便性が高い施設が必要と考えている。



利用者は高齢者が多い？

他の質問

障がい者が働く作業所への支援



▲動画はこちらから

他の質問

旧清水屋の現状と今後の見通し、診療所の承継・開業支援事業



暑き日を海に入れたり最上川

▲動画はこちらから

他の質問

従来型健康保険証の期限切れによるマイナ保険証完全移行



▲動画はこちらから

他の質問

本市のイノシシ対策



▲動画はこちらから

日和山公園の文学碑説明板を早急に新しく

後藤 仁 議員



インバウンドなども意識した説明板を

酒田市地域公共交通計画の策定

安藤 浩夫 議員



本市のクマ対策

佐藤 伸二 議員



次期地域公共交通計画の課題と対策は

問 日和山公園に故橋田壽賀子氏の生誕100年を記念して、30基目のおしん文学碑ができた。これまでの文学碑の説明板は、老朽化が進み文字も小さく読みづらい。文学碑そのものも読みやすい書体でないものもある。本市の文化資源をインバウンドに対応できる多言語化も含めリニューアルすべきと考えるが所見を伺う。

スマートフォンを利用した手法を検討

答 市長 多言語の表記を行うと記載量が増えるため文字が小さくなり、文字を大きくする

と説明板が大型化し景観などへの影響が懸念される。スマートフォンでも認識されやすい書体を使い、翻訳をしてもらうという手法が選択できないか検討している。

問 次期公共交通計画策定にあたり、運営コストの増加による採算性悪化やバス、タクシー運転手不足の深刻化など安定した公共交通サービスの提供には、大きな課題がある。運転免許返納者も年々増加しており、るるんバス、デマンドタクシーへの依存度も拡大している中、運転手の確保対策や利用者の要望に合わせた利便性の向上対策が重要と考えるが所見を伺う。

地域の輸送資源を組み合わせ検討

答 企画部長

限られた予算、人材の中で市民の暮らしの足を確保していくことを考えると、従来の公共交通の仕組みだけでは限界に達しつつあると考えている。利便性向上も含めて、公共交通をどうしていくかは、るるんバス、デマンドタクシーだけでなく、地域の様々な輸送資源を総動員し、どう組み合わせて持続可能なものにしていくのかをしっかりとと考えていきたい。

一定数の整備をしていきたい

答 市長

箱わなは、わな猟の狩猟免許所持者のみが設置することができ、設置後も適宜見守りが必要となるため、適切に管理するという観点から、現状を少し上回る数量が適切な数ではないかと考えている。令和6年度より老朽化した箱わなの更新を計画的に進めていくが、昨今の出没状況も踏まえ、一定数の数量は整備していく。ガバメントハンターは、市町村の枠を越えた広域的な組織で養成、配置することが望しいと考えている。

問 現在、クマの出没件数は過去最多で旧市街地や会社の敷地内にも出没している。9月には本市でクマによる人的被害が発生した。複数箇所で同時に目撲される現状では箱わなが不足しており、数を増やすことが必要と考える。また獵友会への支援および人員確保、ガバメントハンター（狩猟免許を持つ公務員）制度の導入の検討も必要と考えるが所見を問う。

箱わなが足りないのでは

産業振興で雇用の創造を

杉山 道弘議員



産業振興まちづくりセンターの成果は

後藤 啓議員



国道344号の開通見通し

伊藤 欣哉議員



海岸林更新伐採による農業被害を防いでいくのか

問 産業振興まちづくりセンター「サンロク」は、産業振興・農商工業連携・女性活躍・多様な働き方の促進を図る目的で、イノベーション・創業・マッチング・人材育成などに取り組んでおり、雇用を創造し稼げる地域をつくる上で、有効かつ重要な事業であると考える。この事業でどれだけ継続して売上などに貢献し産業振興につながっているか、その成果と検証方法を伺う。

毎年アンケートを実施し把握していく

◎ 地域創生部長

産業振興の補助金は、実施した年度末で一度報告をもらうため、効果測定は難しい。現在は、補助金を使った事業者にアンケート調査などを行い、どのくらい売上につながったかを数字で押さえるように改善している。参考までに、令和6年度に活用した補助金などにおける売上の増加額は、合計1千800万円程度増加していると把握している。

◎ 副市長

庄内地域の被災箇所は全て発注済みであるが、工事未着手の箇所もある。現地に入らないと詳細が分からぬ部分もあるため、現時点では開通の見通しが立っていない。

未着手箇所があり見通しは立っていない

◎ 農林水産部長

各エリアのゾーニングに合わせて対応していく。限られた予算や人員で進めるため、県による明確な方針策定と官民連携が不可欠であると考えており、本市としても、県と連携し早急な対応を実施していく。



えっ、通れないの



茶色に変色した枯松(国道112号沿い)

他の質問

本市における学童保育の待機児童に対する対策



▲動画はこちらから

他の質問

農地の復旧状況、鳥獣被害対策



▲動画はこちらから

他の質問

保育環境の充実に向けた支援



▲動画はこちらから

重点支援地方交付金の使い道は

本市の優先順位と活用計画は

遠田 敏子
議員



問　　国の令和7年度補正予算が成立し、自治体が独自の物価高対策に活用できる重点支援地方交付金について、おこめ券をはじめ市民の関心度は高いと感じている。本市ならではの課題に対し、優先順位をつけてどのように検討しているのか伺う。

給食費などの軽減やポイント還元を検討

答　　市長

給食費などの保護者負担の軽減やキヤッショレス決済サービスを活用したポイント還元キャンペーンの継続を検討している。また、多くの方々に恩恵が行き渡るような交付金の使い方ができないか検討している。おこめ券に関しては、利便性や還元率の観点から、おこめ券に対し交付金を使うことは現時点では考えていない。



地域の実情に応じた対策が可能

男女平等の予防医療推進を



▲動画はこちらから

コラム
Column

注目されています

本市議会では、他自治体議会・議員の皆さまの行政視察を受け入れています。
行政視察受け入れ実績から読み取れる、本市の注目施策をご紹介します。

令和7年 行政視察来庁者数
20団体・148名
(令和6年:16団体・103名)

主な視察内容	延団体数
議会改革・通年議会	4
日本一女性が働きやすいまち宣言	4
駅前再整備事業・ミライニ	3
デマンドタクシー	各1
家庭との両立支援	
空き家対策	
災害対応	
産業振興まちづくりセンター「サンロク」	
特定検診受診率向上	
日本海総合病院の取組	
北前船を活かした観光施策	
湊まちルネッサンス事業・みなとオアシス	

議会改革・通年議会と
日本一女性が働きやすいまち宣言
が最多受け入れ

令和7年は、北は青森県五所川原市議会から南は鹿児島県議会までの行政視察を受け入れました。

視察内容としては、令和6年4月から本市議会に導入された通年議会と議会改革の取組、日本一女性が働きやすいまち宣言についてが4件ずつと最多となりました。他視察内容も合わせて20団体計148名の皆さまからお越しいただきました。



令和7年 酒田市議会の主な活動状況

◎議会の開催状況と審議件数など

会期日数	本会議		議案件数			請願	代表質疑	一般質問
	日数	出席率	市長提出	議員提出	その他			
1月招集議会	1日	1日	95.8%	2件	0件	2件	0件	0件
3月定例議会	27日	7日	94.6%	61件	1件	1件	0件	7名 16名
4月臨時議会	1日	1日	95.8%	6件	0件	0件	0件	0件
6月定例議会	14日	6日	100.0%	21件	0件	1件	0件	1名 17名
8月臨時議会	1日	1日	100.0%	4件	0件	0件	0件	0件
9月定例議会	21日	6日	99.3%	26件	3件	6件	0件	6名 17名
11月招集議会	4日	3日	98.7%	7件	1件	9件	0件	1名 0件
12月定例議会	14日	6日	99.3%	34件	3件	1件	2件	1名 18名
合計	83日	31日	98.1%	161件	8件	20件	2件	16名 68名

◎委員会の開催状況と審査件数

	委員会		協議会
	開催日数	審査件数	開催日数
総務常任委員会	12日	40件(0)	12日
民生常任委員会	6日	11件(2)	8日
建設経済常任委員会	9日	24件(0)	8日
予算特別委員会	14日	35件	
決算特別委員会	4日	9件	
合計	44日	119件	28日

※()内は請願審査分で内数

◎議会運営委員会などの開催状況

	開催日数
議会運営委員会	32日
議会報編集委員会	15日
議会改革推進特別委員会	4日
委員長会議	1日
全員協議会	4日

◎本会議傍聴者数 117名 (令和6年: 52名)

令和7年の一般質問から～住民の代表として市政の監視と政策立案機能を発揮～

一般質問のテーマ	質問回数
行財政（移住定住、山形新幹線庄内延伸など）	32(15)
健康福祉（障がい者支援、全天候型遊戯施設など）	30(15)
教育（児童生徒の不登校支援、義務教育学校など）	16(12)
市民生活（クマ・イノシシ対策、空き家対策など）	15(9)
観光（鳥海山観光施策、中長期観光戦略など）	13(9)
農林水産（松くい虫被害対策、農地災害復旧など）	12(7)
地域経済（企業誘致、製造業支援など）	4(3)

※項目は、実際の発言内容で分類しているため、通告と異なる場合があります。

※質問回数は延べ人数、()は実人数です。

令和7年は議員延べ68人が140項目にわたり一般質問を行いました。中でも、各施策の進捗・計画策定状況、山形新幹線庄内延伸など行財政分野の質問が多く行われました。また、クマの出没、松くい虫被害が拡大していることからその対策に関すること、ほかにも市への指摘や提案が行われ、さまざまな視点から質問が行われました。

